



2025年2月13日

各位

株式会社 いい生活
代表取締役社長 CEO 前野 善一
(コード番号: 3796 東証スタンダード市場)
問合わせ先:
代表取締役副社長 CFO 塩川 拓行
電話番号: 03 (5423) 7820

2025年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年5月14日に公表致しました連結業績予想より営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の変動が30%以上となる見込みであることから、当該業績予想を下記の通り修正致しましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	円 銭
前回発表予想 (A)	3,119	100	99	67	9.72
今回修正予想 (B)	3,011	△36	△42	△28	△4.15
増減額 (B-A)	△108	△136	△141	△95	
増減率 (%)	△3.5	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	2,808	176	208	146	21.17

(百万円未満切捨て)

参考) EBITDA 2025年3月期通期 前回発表予想 640百万円 今回修正予想 504百万円 (増減率△21.2%)

(注) 当社グループの業績に係る有用な比較指標として、EBITDA (営業利益+減価償却費) を開示しております。

修正の理由

1. 2025年3月期通期 (2024年4月1日～2025年3月31日) 連結業績予想の修正理由

売上原価並びに販売費及び一般管理費がほぼ当初想定どおり推移した一方、売上高が当初想定を下回る見込みとなったため、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても当初業績予想を下回る見込みであります。

ソリューション売上を構成する追加開発・導入支援プロジェクトについて、顧客規模の大型化並びに案件規模の大型化、要件の複雑化、期間の長期化等の傾向があり、いくつかのプロジェクトについては当初見込みより工数・期間が拡大いたしました。これらのエンタープライズ顧客向けのプロジェクトは現時点で完了しているものの、工数拡大と長期化に伴い想定を上回り一過性のコストが積み上がりました。

また、大手不動産賃貸管理業の事業安定性、稼働開始後の恒常的な月額利用料収入の増加等を見据えて、当該プロジェクトの稼働開始に向け、顧客の全国の拠点に対する支援体制強化に優先的に社内の営業・導入支援リソースを振り向けた結果、その他の売上高成長が想定を下回る見込みとなりました。

以上の結果、売上高について、当初想定を下回る見込みとなりました。

一方で、今期注力した人的資本への投資については、増員した人員のオンボーディングが順調に進み、それに伴い各種の外注先について見直しを行っており、先述した一部の追加開発・導入支援プロジェクトの長期化に伴うコスト増を踏まえても、全体の費用としてはほぼ当初想定どおり推移する見込みとなりました。

以上の結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきまして予想を下回る見込みとなり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益に関しまして予想からの変動が30%以上となることから当該業績予想を修正致しました。

2. 配当予想について

配当予想につきましては前回発表の1株につき期末配当5円の予想に変更ございません。

当社は、当該期の業績及びフリー・キャッシュフローの水準を十分に勘案した上で、利益配当の継続的实施並びに配当額の継続的成長の実現に向けて取り組むことを株主の皆様に対する利益還元の基本方針としております。

業績及びフリー・キャッシュフローの水準を勘案しつつ引き続き競争力の維持のための投資を継続し、事業の成長から継続的に配当額の成長を目指したいと考えております。

※ 上記に記載した内容は、現在集計中の資料に基づいて作成したものであり、後日開示する業績と異なる場合がありますので、ご了承ください。また、上記に記載した内容は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上